

「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会ニュース

6月15日
いよいよ

「核兵器禁止条約の国連会議」の幕が開かれる！

—17日、296万3889人分の「ヒバクシャ国際署名」届ける—

6月15日、ニューヨークの国連本部で「核兵器全面廃絶につながる、核兵器を禁止する法的拘束力のある協定について交渉する国連会議」（略称「核兵器禁止条約の国連会議」）第2会期（7月7日）が開幕しました。ここで審議されるのは、エレンホワイト議長が5月22日発表した条約草案です。

この草案では、核兵器の開発、生産、製造、その他の方法での取得、所有、貯蔵、移転、受領、使用、実験的爆発を禁止（1条1項）。自国の領土と管轄地域への核兵器の「配置、導入、配備、実験」など禁止することを締約国に義務づけています。（1条2項）

これらは「核兵器の法的禁止の主要な要素を、包括的に規定」し、「核兵器を違法化し、『悪の烙印』を押す」ものです。

人類を大量に破壊する兵器として、生物兵器は1975年、化学兵器は1997年に国際法で禁止されています。

広島・長崎の被爆から72年にして、ようやく核兵器禁止条約が国連の場で採択される見通しです。この国連会議に唯一の戦争被爆国・日本政府は参加しません。日本からは原水協など市民団体から55人の代表団を送ります。296万を超え「ヒバクシャ国際署名」の提出（目録）を日本被団協事務局次長の和田征子さんが行います。ニューヨークでは、17日核兵器禁止女性行動、18日国際フォーラムに参加し、アメリカと世界の反核平和運動、市民との連帯・協同を行います。国内各地でも、協同した行動が取り組まれます。岩手でも、署名の大波を起こしましょう

10万筆
目標

14日、「ヒバクシャ国際署名学習会」

—いわて生協理事会・いわて生協労働組合共催—

6月14日、いわて生協理事会といわて生協労働組合の共催で「ヒバクシャ国際署名学習会」～署名



取り組みスタートダッシュ集会～を開催しました。滝沢ふるさと交流館で昼の部、夜の部と2回開催し130名が参加。講師はキャンペーンリーダーの林田光弘さん。5月のキックオフ集会よりも基本的なことをお話いただきました。なかなか若いリーダーの話を聞くことは少ないので、みなさん新鮮だったとのこと。いろいろ学んだので、いわて生協の目標10万筆に向けてスタートをきりました。

いわて生協：池田亮

署名取り組みスタートダッシュ集会

15日の「国連会議」に呼応した宣伝・署名いっせい行動



「核兵器禁止条約の国連会議」第2会期開会日の15日、「岩手の会」は一斉宣伝・署名行動を盛岡野村証券前交差点で昼時

間行いました。県生協連、県原水協、平環センター、被団協の幹事4団体から23人が参加。4人が交替でマイクを握り、通行人に署名をお願いしました。30分の短い時間でしたが、60人から署名が寄せられ、これまでにない良い反応で、参加者が元気付けられました。署名しながら、共謀罪の強行突破への怒りを語る姿もありました。

30分で60人から署名！

岩手県内、34首長（知事含め）の内22首長が署名！

6月15日時点で、達増知事、谷藤盛岡市長など10市、8町、2村の自治体首長、10を超える議長が署名に応じています。全国では、658人の自治体首長が署名しており、県知事は11県になっています。

全自治体の首長、副首長、議長の署名をめざします。

★岩手県版の署名用紙3万枚を印刷しました。連絡くだされば、すぐお届けします。